

# しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 42

平成28年(2016)  
4月28日

おもな内容

平成28年度一般会計予算可決	2~6
条例改正	7
補正予算	8
一般質問	9~17
委員会報告	18~20
採決一覧・議会日誌	21
みんなの広場	22

**トピックス** 地方創生元年の予算 全体188億3,370万円を可決!  
町長ほか給与1割カット(1ヶ月)条例を否決!  
一般質問の動画QRコード掲載を開始!

幾百年の  
桜花とともに

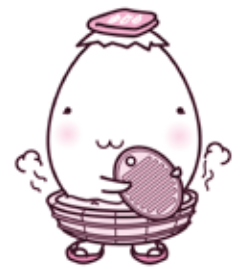
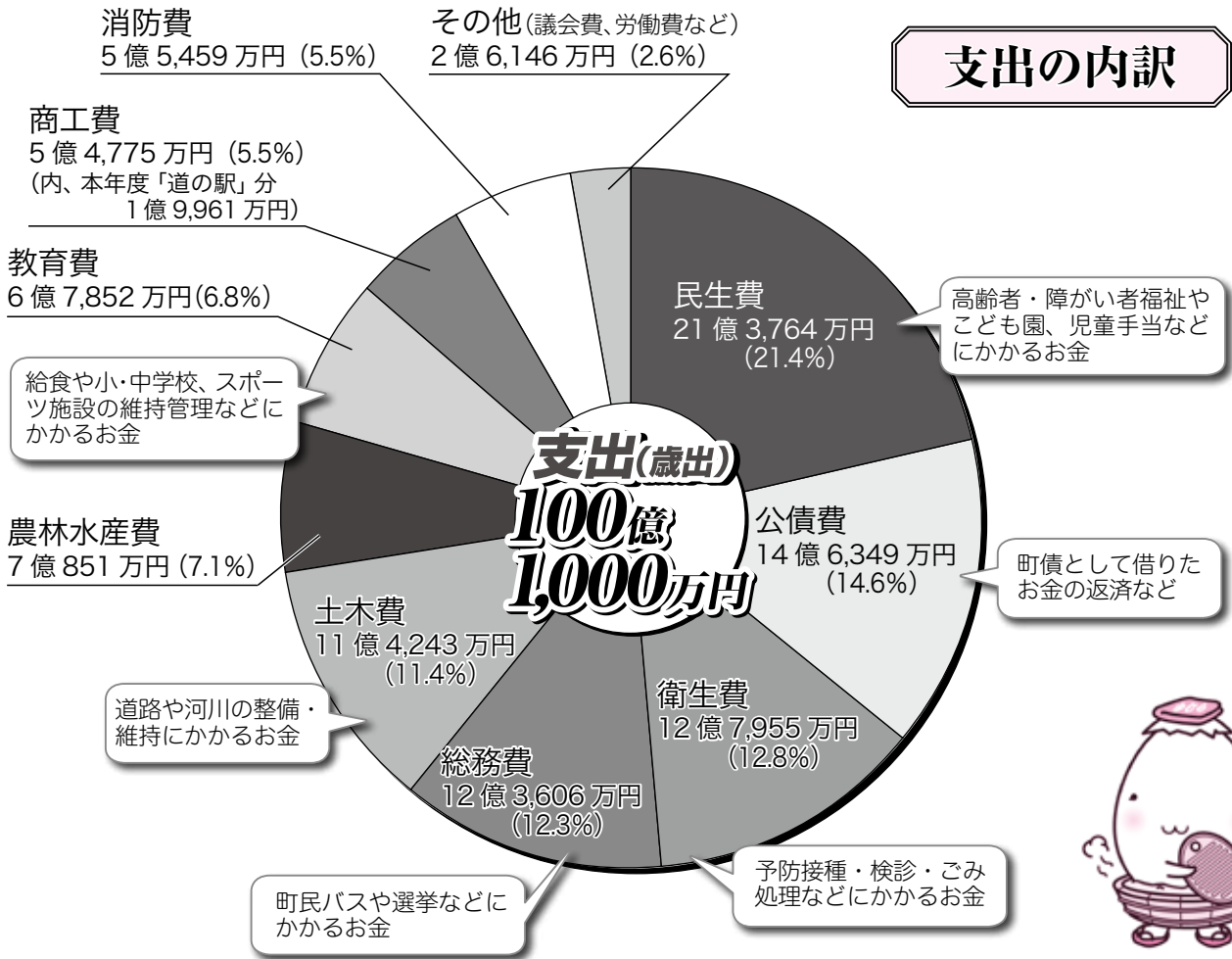


泰雲寺しだれ桜は、樹齢約250年の巨木で西日本では最大。その桜花は老夫婦と無邪気に遊ぶ子どもをやさしく包んでいた。町に春がやってきた。

# 100億1,000万円 で着工 本腰スタート

一般会計 100億 1,100万円  
特別・企業会計含め  
全体 188億 3,370万円を可決

## 支出の内訳



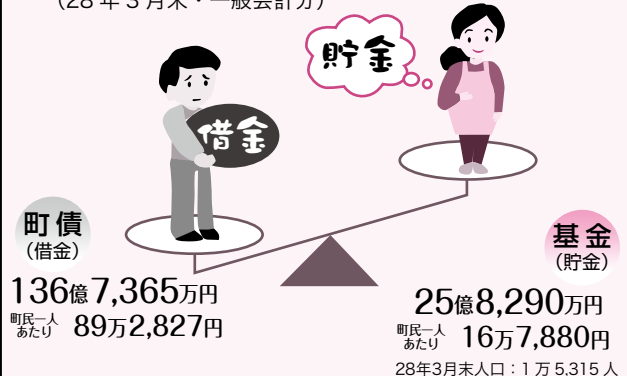
湯たん

## の内訳

事業種別	金額 (万円)	増減率 (%)
温泉事業	1億 1,823万円	-46.2%
水道事業	11億 7,367万円	+24.5%
下水道事業	15億 9,599万円	+84.0%
公立病院事業	16億 4,064万円	+2.7%
全体合計	188億 3,370万円	+1.5%

## ●町債(借金)と基金(貯金)の状況

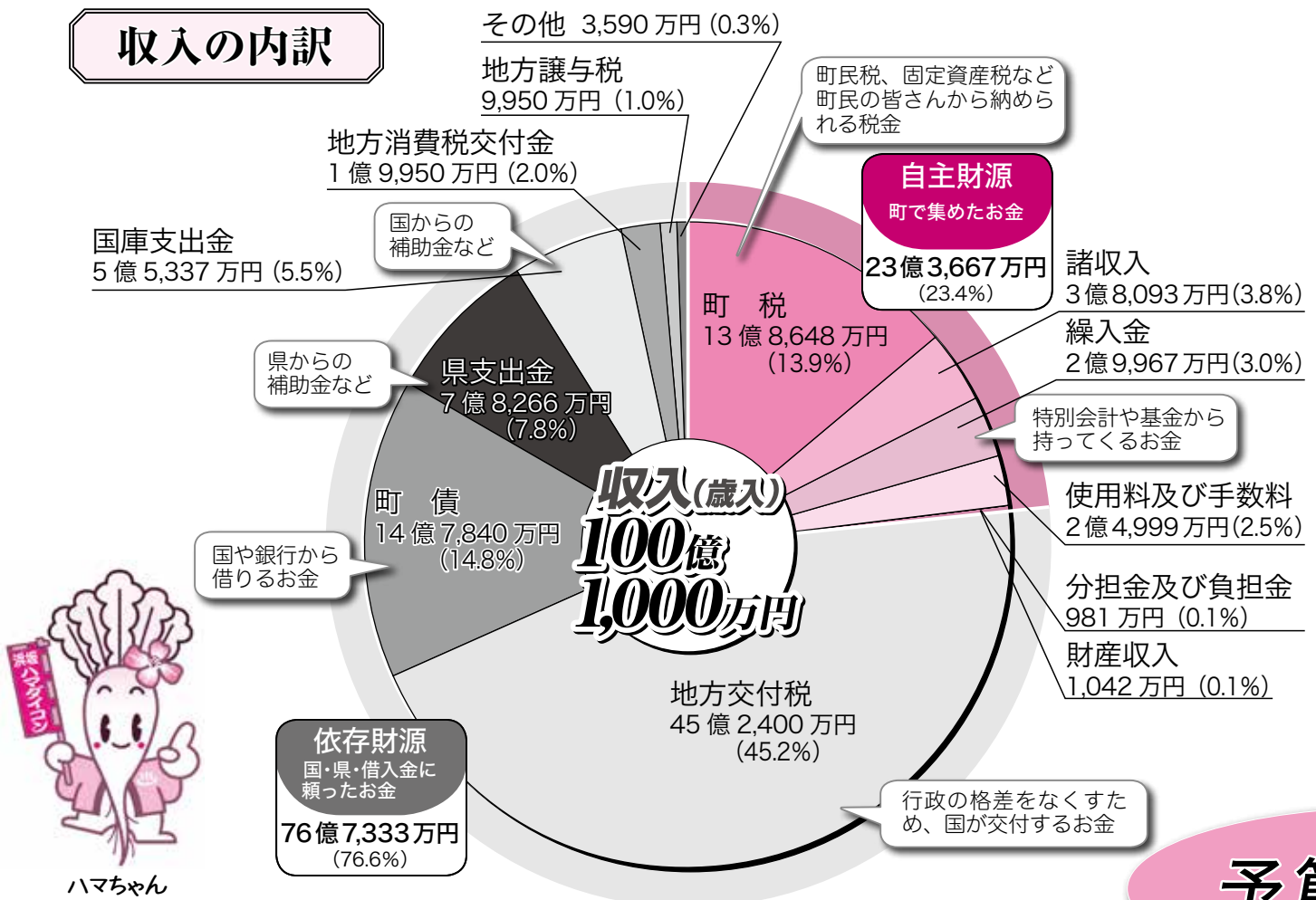
(28年3月末・一般会計分)



# 「道の駅」2ヶ年総額6億41 空き家、移住・定住対策にも

第77回（平成28年3月）定例会が3月2日に招集され、25日まで24日間の会期で開かれました。町長から平成27年度補正予算案と平成28年度予算案や条例改正等66件が提出されました。今回は一般会計予算をグラフで示し、議論は次ページから報告します。

## 収入の内訳



## 予算

### ●平成28年度 新温泉町一般会計、特別会計、企業会計予算

会計名	一般会計	特別会計	国民健康保険事業	後期高齢者療養	介護保険事業	浜坂地区残土処分場事業	温泉地区残土処分場事業	七釜温泉配湯事業	公営企業会計
予算額	100億1,000万円	42億9,517万円	22億8,010万円	2億1,291万円	16億8,725万円	8,345万円	2,374万円	772万円	45億2,853万円
前年度対比	-4.6%	-3.2%	-0.7%	-0.7%	-0.5%	-38.8%	-54.7%	-80.7%	+24.9%

# 一般会計 全議員がハッサリ斬りこむ!

平成28年度予算は、予算特別委員会を設置し委員長に中井勝議員、副委員長に池田宜広議員を選出しました。3月16日から24日までの9日間にわたって一般会計、特別会計、企業会計の全12会計を審査しました。集中して多くの議論がありましたが、紙面の都合のため一般会計の一部を紹介します。

## 総務費

**Q** 家屋の課税もれがないように努力

**A** 地域振興基金2億円。財源は。

**Q** 合併特例債である。

**Q** 湯めぐりエクスプレス運行事業に関して、鳥取空港経由を止めたいが見解は。

**A** 利用客が少なく利便性が悪い。

**Q** 夢たじま産業フェアのメイン会場の参加が無かったが。

**A** 町内17社に案内したが、結果は1社だった。今後は努力したい。

**Q** 27年度の公衆無線LAN整備について、成果は。

**A** 40基完了した。

**Q** 再生可能エネルギー導入促進事業を、もっとPRして、普及促進すべき。

**A** 47件補助をした。広報は春・秋にやっている。

**Q** 固定資産評価について、家屋の課税もれはないか。

**A** 課税もれを出さないように努力している。

## 民生費

**Q** 各種給付金は100%届くように

**Q** 外出支援サービスの土日祝日の業務が、なぜできないのか。

**A** 医療機関の運搬が平日のため、今後検討する。

**Q** 臨時福祉給付金520件が届いていないが、今後の対応は。

**A** 個別に電話している。代理での受理も委任状等案内している。

## 衛生費

**Q** ゴミは総合的勘案してベストで対応

**Q** 環境保全推進協議会の委員に入札業者がなるのは不適切。

**A** 任期満了時に見直す。

**Q** クリーンセンター継続利用できないか。

**A** 地域との協議経過上、ゴミ関係施設での使用はできない。

**Q** 浜坂病院経営改善計画を示すべき。

**A** 28年度に改革プランを策定する。

**Q** 田井公園はどういうイメージか。

**A** 今、示す段階では無い。

**Q** 一廃や産廃、ゴミの区分を業者は理解しているか。広域へは遠距離すぎるが。

**A** 分別説明会、事業所訪問、現場説明会を実施。町民の安全安心を総合的勘案してベストで対応する。

## 農林水産業費

**Q** 但馬牛がG-1に登録されたが、今後の取り組みは。

**A** パンフレット等作成しPRしていく、また

た地産外商としても進めていく。

**Q** 育林から伐採、森林資源の活用が見えない

**Q** 森林が育林から伐採に転換の時期となっている。森林資源の活用が見えない。

**A** 木の駅は実行委員会を組織し地域通貨などの研究を行っている。

**Q** 地域おこし協力隊もいいが、住民が課題解決する姿勢が必要。地方創生はこの視点が重要と思うが。

**A** 頑張る人を見て人が来る観点も重要。当たり前が、外の目では資源で宝に発展できる視点が地域おこし協力隊。それをどう生かすかは地域の人の努力分野である。

**Q** 釜屋の大敷網はどうなったのか。

**A** 漁協や関係者に相

## 平成28年度一般会計予算 討論

反対

谷口 功議員

地方自治体の使命は住民の生命、財産を守ることにあり、そして福祉の増進を図ること。安倍内閣の極端な大企業優遇策の半面、低所得者ほど負担の重い消費税増税、物価引き上げ、社会保障の連続削減を行い、さらに社会保障を企業の儲けの対象に拡大するなど悪政を続けている。この時、地方自治体こそ住民に寄り添い、個別・具体的に支えるべきだ。地方創生元年ということにふさわしい熱意も気迫も伝わってこない。地域振興基金やふるさと納税制度は、地方交付税制度をゆがめることになり、民主的申告納税制度の根幹を揺るがすものとなる。



大きな期待を受けて「そば、海鮮、但馬牛」をコンセプトにした「道の駅」整備に着手。(写真はイメージ)

談したが復活は難しいとの結果だった。

## 商工費

「そば、海鮮、但馬牛」総額6億41万円で道の駅整備

### Q

道の駅の総事業費と財源、町と県の持分は。オープン時期は。「そば、海鮮、但馬牛」施設の運営の合意は。

### A

全体6億41万円、町分3億7千万、建設整備の補助金ない、起

債事業で行う。オープンは29年9月予定。出店予定者と協議している。

### Q

道の駅指定管理も視野にしているとは。「そば、海鮮、但馬牛」の業者選定は指定管理者が決めるものではないか。情報発信は人材が必要。用地契約と支払いは。

### A

地域振興施設として26年度11回の検討委員会をベースに、本年度「そば・海鮮・但馬

牛」に絞った。指定管理は参入業者で運営管理ができる団体ができれば可能、一般公募するが町内で応募してほしい。情報人材は決めている。買収は交差点改修もあり建設課と商工観光課で行っている。用地契約は完了、未登記のため支払いは繰越す。契約は町・県それぞれが行う。

### Q

駅前案内所と鉄子の部屋が連携し情報提供すべき。

### A

所管課は別だが同じ駅前であり連携したい。

### Q

「たじまわる」の西側運行経路に鳥取砂丘を検討すべき。

### A

但馬観光協議会の事業で難しいと思うが関連の会議等で意見したい。

### Q

起業支援アドバイザーの役割は。

### A

町内で起業するものに、専門的な事業計画・資金計画や販路開

### Q

拓などのアドバイスを行うために設置。

### Q

温泉保護が審議会の役割、意見を求めるべき

### Q

温泉バイナリーが停止しているが、停止期間は。運営が大きく赤字だが効果は。

減少とメンテナンス時が重なったため停止。停止期間の全体はわからない。施設は高温の湯村温泉の宣伝効果もある。

### Q

温泉の量が減少する話があったが、温度と水位を含め温泉審議会に相談したか。

### A

株湯の変化はない。荒湯のあまり湯が変化している。温泉保護のため28年度に温泉審議会を開きたい。温度と水位の調査は継続する。

### Q

築後、約30年となるリフレッシュパークの改修計画は。

### A

毎年、夢公社と協

### Q

議し修繕している。大規模修繕の必要も承認している。

### Q

CATVが本庁舎に延伸された。駅前案内所や学校等、公共施設に延伸すべき。

### A

経費のこともあり、道の駅も含め今後の検討としたい。

### Q

プレミアム商品券を散髪券等、限定した商品券にできないか。

### A

実施主体は商工会であり、意見は連絡する。

ジオパーク館やレクセン、ユートピアを指定管理しては。

### A

検討はしてきたが、費用対効果や適切な管理者も無いことから未実施である。

### Q

婦人会活動に支援を。

### A

協議して決めたい。

### Q

公民館・地域コミュニティ事業多くなって

### Q

賛成

### 岩本修作議員

当町は昨年合併10周年を迎えた。新たな10年、20年の未来へ向けてのスタートの年となる新年度予算は、昨年10月に策定した「新温泉町人口ビジョン」と「新温泉町地方創生総合戦略」を、継続的に取り組んでいる「元気づくりプロジェクト」と包括して、人口減少対策、地域の活力づくり、また子育て支援、高齢者対策等に配慮した予算であると思う。また、本予算は財政が大変厳しい中でも、町民が安心して生活するための施策が、工夫して盛り込まれている予算であると評価するものである。

### 社会教育

協賛して決めたい。

### Q

公民館・地域コミュニティ事業多くなって



浜坂高校は多くの町民の母校。少子化の中で更なる発展を求め支援事業を継続実施。

声を汲みながら行う。

**Q** 町道浜坂海岸線防  
潮堤監視業務とは、味  
原川河口の水門設置を  
要望する。

**A** 岸田川と味原川合  
流点の降雨時に増水対  
策として予算化。水門  
の要望は県土木に強く  
伝えている。

### 消防費

**防災行政無線デジタル化  
は総額約5億8千万円**

**Q** 防災行政無線デジ  
タル化整備事業実施設  
計の自身は。

**A** 町内全域において  
平成28年度から5か年  
計画で進める同整備事  
業の実施設計。総額は  
約5億8千万円の予定  
である。

**Q** 防災コンサートの  
内容とあり方は。

**A** 町総合防災訓練の  
隔年事業として、防災  
について考える「防災  
コンサート」を実施す  
る。今回は竹下景子さ

んを招致する。

### 教育費

**浜坂高校支援「グローカ  
ルキャリア類系を設置」**

**Q** なぜ浜坂高校への  
進学が少ないのか。

**A** スポーツ・進学・  
通学に関してが、主な  
要因と考えている。

**Q** 生徒獲得に向けて  
何か対策はあるのか。

**A** グローカルキャリ  
ア類系（特進クラス）  
を設置している。

**Q** 進学支援ビデオの  
支援のようだが、奨学  
金の利息等、他の支援  
策はないのか。

**A** 現段階では考えて  
いない。

**Q** トライやるウイ  
クの受け入れ企業が  
年々減少し厳しい状況  
である。社会勉強の場  
としてもっと力を入れ  
るべき。

**A** 不登校の生徒も参  
加できている現状を考  
えると、今後も更なる

努力をしていく。

**Q** 中学生海外研修に  
低所得家庭は参加でき  
にくい。廃止か、無料  
か、全員行けるように  
すべき。

**A** 低所得の家庭の生  
徒も参加している、最  
低限の経費負担は願  
いしたい。

**Q** 婦人会に何を求め  
ているのか。

**A** 多方面で女性の力  
が必要と考えている。

**「山の日」制定を生かす  
べき**

**Q** 「山の日」事業に  
山・川・海を連携した  
事業を考えてはどう  
か。予算10万円では  
できるのか。

**A** 事業内容は図書館  
にとらわれず色々な課  
と連携相談をして検討  
したい。

**Q** 支所図書室内にお  
茶を飲むスペースを確  
保してはどうか。

**A** 飲食は禁止として  
いる。

### 反対

中井次郎 議員

町長は所信表明で「平成28年度は、現総合計画の重点施策である「元氣プロジェクト」に全庁挙げて取り組みます。「元氣プロジェクト」には3本の柱があり、1本目産業振興、雇用の創出。2本目が若者定住。3本目が交流人口の拡大です。」と言っている。どれも今後の町発展にとっては必要なものである。しかし、誰がこの柱を推進していくのか人材は町職員であろう。当局の説明では一層の人減（ひとべらし）をしようとしている。これでは「元氣プロジェクト」も絵に描いた餅となるではないか。この考え方を改めるべき。

大変ではないか。

**A** 社会的部門だけ考  
えて欲しい。

**Q** 学校給食は現状で  
いいののか。

**A** 地産地消を心がけ、  
自信をもって出してい  
る。

### 土木費

**湯村温泉街修景整備計  
画は橋の景観づくり**

**Q** 空き家対策は、住  
宅対策の観点から住宅  
受給調査を行い、進

めるべきではないか。

**A** 今回は民間住宅の  
空き家のみで、法的に  
も危険空き家を対象と  
している。ご意見は移  
住・定住の面から重要  
と思う。

**Q** 湯村温泉街修景整  
備計画の目的と、地域  
の声を反映すべき内容  
に。

**A** 湯村温泉街は景観  
形成地区。道路や橋梁  
が老朽化しており、橋  
梁を中心に景観形成の  
対策を講じる。地域の

# 町長、副町長の給与等1ヶ月 1割カット特例条例を否決!! その他40議案は可決成立

## チェック! 条例改正

こんな「決まり事」になりました

本会議3日目3月14日から議案審議に入りました。議案の内、多くの議論を要した議案について報告します。

「特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定」は、労働基準監督署の是正

勧告に伴い労務管理において適切な事務処理を怠ったことにおいて管理者として自らを律するもので、1か月の報酬を1割減額する内容で提案されました。

提案について、総務委員会での否決は今回の事案を容認したものではない。再提出の考えはないのか。課長と町長をはじめ、職員間、セクシオン間の連携ができていないのか。他の関係者の処分も必要ではないか。町長、副町長1か月1割減、総務課長は厳

重注意、形だけの処分か。慣例が、前年踏襲では発展がない、払拭には人事異動も有効。町行政の信頼度が低下してしまっただけ、多くの議論がなされ、採決では、反対討論もありましたが否決されました。

### 住民目線でのごみ分別を望む

「新温泉町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正」は、グリーンパーク北但の開

設にともない提案されました。質疑では、住民目線から発泡スチロールの料金1袋千円の設定は、計画日収集1か所1か月3,200円が量によって大きく増額。ごみのプライバシー上、2重袋が必要。飲料缶の分別方法に問題。実績により個別収集の再

検討すべき。等、多くの意見が出され、反対討論もありましたが可決されました。

### 空家対策は特定(危険)空家を優先すべき

「空家等対策の推進に関する条例の制定」は

空き家対策措置法の実施に伴い、空家の対応対策について定めるもの。議員から、町民の特定(危険)空き家の情報提供の義務付けは問題、特定空家を優先し空家バンクは慎重に行うべき。等の意見がありました。賛成多数で可決されました。



新しいごみ処理が開始、減量と資源化に一層の努力を。

### 提案全21施設の指定管理者が同一で更新

「公の施設に係る指定管理者の指定」は、御火浦コミュニティセン

新温泉町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

#### 反対討論

谷口 功 議員

ごみの広域処理も北但行政への移行も住民が求めたものではない。ごみ処理は、市町村固有の事務である。住民の協力なしにはできない仕事でもある。にもかかわらず、事業の計画も、建設

ター、浜坂野営場、上山高原ふるさと館、リフレッシュ館、浜坂山村広場、浜坂体育センター等、21施設の指定管理者の更新議案が可決されました。

その他、職員の能力や業績アップを目的とした人事評価制度の条例改正や人事院勧告に伴う条例改正など40議案が議決されました。

も秘密主義的に進められた。

北但移行に伴う分別区分や収集日の変更、さらに、この条例にある料金改定は少なからず住民に必要な混乱をもたらしている。とりわけ、戸別収集の料金改定により、集合住宅で暮らす住民が別途「ごみ料金」を徴収されることを黙過することはできない。

# 労働基準監督署の勧告で1,633万円 を専決補正。病院には5千万円に 5千万円追加で最終1億円。

## チェック! 補正予算

まちの台所事情が  
変わりました

この度の一般会計ほか各会計の補正予算は、12月以降に発生した国の臨時福祉給付金5千715万円や人事院勧告等、各業務の収支における予算調整と年度末を見込んだ補正として提案されました。

**長年の慣例で済むのか。現在を決裁したのは現職**

議案審議冒頭の平成27年度一般会計補正予算(第4号)及び公立浜坂病院事業会計補正予算(第3号)の専決処分は多くの意見が続出しました。

専決の内容は、昨年11月13日に労働基準監督署の調査があり、宿日直代行員の賃金は正を勧告されたもので、原因は「長年にわたって慣例で行ってきた。今後は法令順守を進めたい。両会計補正額は

16,349千円増」との説明。

議員側からは、「勧告を受けるまでに対応できなかったのか」「なぜ、香美町が無くて本町が勧告なのか」「事前に何らかの行為があつての勧告ではないのか」「長年の慣例で済むのか。前職に対し申訳できるのか。現在を決裁したのは現職」「遡及の期間は妥当か」「普通では考えられない出来事で役場が知らないとはもつてのほかに」「ブラック企業が問われるが、新聞報道から見ればブラック役場とも見える」「病院の宿直2人体制は無理がないのか」「専決補正のみで論議することではない」等、多くの議論を行い承認しました。

その後、人事院勧告や年度末を見込んでの一般会計や特別会計、

企業会計の通常の補正が提案され、浜坂病院の特別補助5千万円も含み承認されました。

### さらに病院5千万円の追加で紛糾

会期末近い3月24日に、平成27年度一般会計補正予算(第6号)及び公立浜坂病院事業会計補正予算(第5号)が追加提案されました。内容は、「同会計において3月23日に5千万円の資金不足が発覚。原因は単純な見落としによるもの。5千万円を補正増したい」との説明を受けた。

議員からは、「昨年が4億5千万円、今年が1億円であることに不審はなかったのか」「事務の決裁で確認行為が発揮できなかった理由、チェック体制は10日前に補正を行ったところであり理解で

きない」「財源は税金、行政のプロの仕事か」「町民に理解されない、謝罪すべきだ」「緊張感が欠けている、襟を正すべきだ」等、多くの意見と議論の結果、病院機能の継続のため可決されました。

今回の補正の特別会計では、国民健康保険事業特別会計補正予算ほか6件、企業会計では水道事業会計補正予算ほか2件も議案上程され、いずれも賛成多数で可決承認されました。

平成28年3月補正予算(一般会計、特別会計、企業会計)

(単位:千円)

会計名	補正額			補正後予算額
	専決処分	3月補正額	追加補正	
一般会計	12,819	△ 59,254	50,000	10,581,564
特別会計	国民健康保険 事業勘定		△ 33,406	2,257,410
	照来診療所		△ 505	34,546
	八田診療所		△ 3,000	18,521
	歯科診療所		△ 1,261	52,131
	介護保険事業		△ 1,063	1,698,796
	浜坂地区残土処分場事業		49	136,208
	温泉地区残土処分場事業		50	43,712
	七釜温泉配湯事業		△ 3,371	36,874
下水道事業		△ 579	831,708	
公営企業会計(支出)	浜坂温泉配湯事業会計		△ 33,350	126,491
	水道事業		1,226	974,870
	公立浜坂病院事業会計	3,520	△ 8,256	歳入 50,000



# ずばり！ 町政を問う。



**一般質問**とは、議員個人が町の事務の執行状況や、将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営を進めているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

本町議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができます。質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。一般質問の質問時間は、答弁時間を除き40分以内で、時間内であれば何回でも質問することができます。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を起こし掲載しています。今定例会の質問議員は8人でした。次のとおり紹介します。

頁	質問者	質問事項
10	中村 茂	①新年度予算の気になる点 ②温泉を活用した健康づくりの里
11	植田 光隆	①農林業の振興 ②空き家対策 ③地域おこし協力隊
12	岩本 修作	①安全安心の町づくり ②インフルエンザ予防接種助成
13	池田 宜広	①今後の方向は 道の駅、空き家対策、認定こども園
14	中井 次郎	①空き家等対策事業 ②道の駅 ③新しいごみの分別・収集
15	高橋 邦夫	①労務管理体制を問う ②28年度予算の行政姿勢と課題を問う ③ふるさと納税
16	宮本 泰男	①上下水道事業 ②空き家対策事業
17	谷口 功	①町長の28年度施政方針と、安倍内閣の3年間でわが町の町政と住民の暮らしにどのような影響が表れているか ②北但ごみ処理施設4月稼働は大丈夫か

# 大系化された移住・定住策が見えない

町長 予算化し一定対応したい



中村 茂 議員



**問** 予算方針のテーマは「協働」。協働の推進には「広聴活動」が重要だが目標値はあるか。政策決定のパブリックコメント制度の効果は。広報広聴アンケートを実施してはどうか。

**町長** 目標値は特に設定していない。パブリックコメントやアイデアはがきの反応は鈍く分析したい。総合計画の立案もあり、精度の高いアンケートは積極的に検討したい。

**問** 国勢調査結果速報で、合併時から人口減少が町全体で84・8%、

温泉地域は80・6%、浜坂地域は87・6%、地域差があり温泉は2割の減少。地域支援員の制度活用は。

**町長** 印象として予想以上に減少が少なかった。福祉の分野を含めて地域支援員制度は堅持したい。

**問** 移住・定住策は町の地方創生。岩美町の39施策に学ぶべき。

**町長** 住宅リフォーム助成、起業支援、保健医療、教育など予算化し、一定対応したい。本町でも集めれば30〜40施策になる。現在取りまとめ中。地域おこし協力

隊を中心とする「観光ツーリズムの推進」「空き家バンク」「農業の地産地消・外商」とあるが、お任せか、職員は何をするのか。

**町長** ご指摘の点はそれとおりだが、各課題とも職員を中心として、担当課全体で対応することが基本である。総力で推進したい。

**温泉の入浴効果や効能を町内に広めたい**

**問** 町健康増進計画で温泉活用が全くみえない。地域資源である温泉の利用効果をどう評価しているのか。

**町長** 明記していないが、健康教室で水中ウォーキングも取り入れ継続して行っている。温泉の入浴効果や効能も町内に広めたい。

**問** 風呂も公共交通のバスも利用の多少を問わず100%の体制で

お客を迎えるもの。(片道無料)バス&バス(温泉)でヘルシータウンを考へては。

**町長** 町民バスは有償運行で無料には無理があるが、温泉施設と連携する方法はある。浜坂病院には二日

市温泉が引湯されているが紹介されていない。スポーツドクターや温泉療法医等、育成・招致はできないか。

**町長** ご指摘の専門医の招聘は、現下の医師の状況からして極めて困難である。



リフレッシュパーク「町民プール」では、年間を通じて、老若男女を問わず自分のペースで歩行浴や水泳が行われている。是非ご参加ください。



植田 光隆 議員

## 農林業の振興を

### 町長 森林の経済性が可能に

#### 林業関係

**問** 我が町の約85%は森林である。昨年、北但西部森林組合に「木質バイオマス供給センター」が完成した。今年の9月には朝来市にバイオマス発電所が完成し稼働すると聞いている。現在関係団体で（木の駅プロジェクト）を検討されている。資源を活かし、集荷した木材の収益は地域通貨で地元が元気づく仕組み

みのようだが、集荷場所と今後の運営に対する支援の考えは。

**町長** 一定程度森林の経済性が可能になる局面を迎えたと思つている。集積場、支援措置についての対応は考えていない。

**問** 地域材の地産地消の推進を、今後予想される公共施設等の木造化を促進してほしい。

**町長** できるだけ対応したい。

**問** 我が町の地籍調査の進捗率の状況は約6%で他の自治体と比較して低い、調査の実施面積の拡大を要望したい。

**町長** 遅れているのは事実である。森林明確化事業と合わせて、可能な予算付けをしたい。

#### 農業関係

**問** 我が町を活性化させるには、地場産業を支援、生産された農水産物を上手く加工し商品にして多くの消費者の

方々へ販売できるからである。町長の言っている6次産業化への支援とは何か。

**町長** 一律に論じ切れないが、国県の支援、町の単独の支援、また企業の支援等を受け6次化を目指す方々へ力になればと思う。

**問** 有害鳥獣について伺う。クリーンセンターが無くなる、捕獲後の

処理の支援は。また鹿の生息数が増えてきた、防護柵設置に町独自支援策は。

**農林水産課長** 捕獲後の処理は埋設。支援策はない。防護柵設置は町単独の支援策もある。

**問** 各集落とも農業者の高齢化と担い手不足から、耕作放棄が増えてきた。集落全体の機能を維持するためにも、集落営農組織の充実は必須条件と思う、見解は。

**町長** 農用地の保全・担い手について、ベストは集落営農組織だと認識している。



香美町村岡区長板に昨年度完成した「木質バイオマスセンター」。地域材の地産地消としてチップ材が生産されている。

- 【他にも問う】
- 第11回全国草原サミット・シンポジウム開催のPRを
  - 但馬牛看板設置の件
  - 空き家対策について
  - 地域おこし協力隊について

# 防犯カメラの設置推進を図るべき

## 町長 取捨選択しながら対応する



岩本 修作 議員



**町民が安心して暮らせる町に**

**問** 新温泉町でも、不審者、行方不明者等たくさんさんの事件が発生している、全国でも小学生の子供が行方不明になる事件が多発している。子供の通学の安全、犯罪の抑止力、行方不明者対策のため防犯カメラの設置推進を図るべきだと思う。

**町長** 町が主体で防犯カメラを設置する事はできない、各町内会、各企業等が設置主体で

ある。

**問** 通学路は犯罪や事故を防ぐだけではなく子供たちの通学状況がわかり、通学路の改善や通学の指導法などいろいろな面で活用できると思う。町民の安全・安心を守るのが行政の責務であると思うが。

**町長** 町の責務であることは間違いないと思う。防犯カメラ設置については、必要な所そうでない所を取捨選択し将来対応はするべきだと思う。

**問** 町民も行政がどの

ような防犯対策をしているのかわからないと思う、町民が目で見えてわかる防犯対策、そこそが防犯カメラだと思いが。

**町長** 防犯カメラの効果的な部分是否定はしない、ただ、町の防犯は地域、町を構成する組織が連携して、町の防犯に努めている。

### インフルエンザ予防接種に助成金を

**問** 予防接種を受けたいが、値段が高く受けられない方がいる。子供が2人、3人いる家庭ではかなりの負担になる。我が町でもインフルエンザ予防接種に助成金等考えてみてはどうか。

**町長** 65歳以上は助成措置を講じているが、65歳以下には対応はし

ていない。任意接種になるので、事故があった場合非常に難しい状況になる。

**問** ワクチンの費用も種類が増え、価格も例年より1.5倍近く上がっている。この先町民の負担が増えて、人口減

少や少子化問題にも影響しないのか。

**町長** 15歳以下の入院通院無料は対応している。予防接種についてはリスクが高く難しさを感じているが、引き続き検討していく。



一般常識化している防犯カメラ。町民の安全・安心の確保と犯罪抑止のために、必要な場所にはカメラ設置が求められている。



池田 宜広 議員

# いよいよ「道の駅」建設に着手

## 町長 皆さんに支持される駅を目指す

**「道の駅」運営主体はどなか**

**問** 多額の税を投入し平成29年秋の開所を目指し、いよいよ建設に着手するが、どのような運営で進めるのか。

**副町長** 検討委員会でいろいろな意見も出たが本来、建物ができ設管条例をつくり、前倒しで委員会にも諮り指定管理などを募集し、運営主体を決めたいという考えで今進めている。

**問** どのような店舗が入るのか。

**副町長** この町・地域にふさわしい特色を出すために、「そば」、「但馬ビーフ」、「海鮮」、「地域の産物」を考えている。

**問** 設計にあたり、民間事業者の知恵・知識を組み入れたのか。

**副町長** 事前に運営事業者等が決まっていれば相談はしたが、今回は運営等は次年度となるため、専門の方々にヒアリングをする事で施設設計をした。

**問** 約7年先であろう浜坂道路先線が開通するまでは必ず降りる。その間に「良かったな」と言ってもいい、「また来ような」と思ってもらえる「道の駅」を期待する。

**町長** 岩美道路に接続

するまでは、非常にたくさんの方々には支持される、そんな駅をしつかりつくる事が課題であると思っている。

**「空き家」等住宅ニーズの把握はどの様に掴んでいるか**

**問** ここ数年で新築、リフォーム等住宅事情も大きく変化している。そこで、個人財産ではあるが「空き家」の徹底調査をし、古民家を求める方々に情報提供をしてはどうか。次年度「空き家バンク」を設置するようだが、この活用方策は。

**町長** 若い方々の住宅ニーズについて、空き家が占める位置は今後の調査等々で、非常に大きな要素だろうと思っている。移住定住

の一助にもなるであろうとも思っている。できるだけ所有者の方々のマッチングを、宅建業協会、建築士会等そういった方々の協力を得ながら対応をしてみたい。

**「浜坂認定こども園」31年度を目途に建設**

**問** 想定津波高の関係で、現在地への建設で

はないのは分かるが、候補地はあるのか。

**町長** 次年度設置する検討委員会を考える。

**問** 今後の町を担っていくのは教育であり、教育者である。こども達の教育施設は、他施設は後になっても早急に対応すべき。

**町長** 教育の重大性、三つ子の魂百までといわれる。同感である。



砂防堰堤の下部に建設された夢っ子認定こども園。災害や交通環境を意識した適地選定が求められる。

## ごみの分別・収集は分かりやすく、納得のいくものにすべきだ

### 町長 若干のそごがあった



中井 次郎 議員



**問** 新温泉町は、分別収集の先進自治体だ。これは日ごろからの町民の協力のおかげだ。分別収集は可能な限り燃やすごみを少なくし、資源化を図るべきだ。それに加え、町民にとって分かりやすく、納得のいくものがあるべきだ。1月から3月はお試し期間だったが、アルミ缶が指定日以外の日に出され、業者はそれを持ち帰らなかった。「少々、間違っても持ち帰る。これではお試し期間にならない」、このような声も出ている。なぜ、

このような混乱が起こったのか。

**町長** 若干のそごがあったように聞いている。説明会での説明の不十分であったり、12月に入ってからチラシ、それから各区長さん方に配布したチラシ等々において、必ずしも十分に徹底できなかったというようなことが、混乱に拍車をかけたようだ。

**町民課長** チラシが4月1日以降のものと試行期間の物とを一部で勘違いされた方もおられ、そのような混乱が起こったということ

**問** だ。サラダに使うツナ缶を持ってきた。スチール缶とアルミ缶がある。当局の説明ではどちらもスチール缶とし

て出すようにということだが、資源化を図るとすれば、分別をすべきだと考えるが。

**町民課長** 新しい分別区分では、アルミ製飲料



ごみ処理広域化で本年4月1日から新しい「ごみ分別」が開始。町民に混乱を招くような分別区分は再検討すべき。

料缶のみアルミ缶ということで出していただくことになる。その方がわかりやすいということ、そのようにした。

**問** 新しい分別収集になり、町民は大変不便になっている。ごみ辞典には鉄アレイや古くなった電気柵支柱など、収集しないものがたくさんある。買ったところに引き取ってもらうようにとも書いてある。そんなことは簡単ではない。見直すべきだ。

**町民課長** 町で処理できない物は、買われたところに引き取ってもらうのが原則である。町にご相談いただければよいと思う。ぜひ気軽に相談してください。



高橋 邦夫 議員

# 労基局からの改善指摘は異常事態だ

## 町長 その他は特段指摘はない

**問** 労基局より自治体が改善指摘を受けるのは異常といえる。臨時職員の雇用形態・有給休暇付与と取得などについて指摘はあったか。

**町長** 臨時職について特段指摘はなかった。休暇についてもほぼ取得している。

**問** 認定こども園の臨時職は半数以上いる。運営に支障はないか。

**町長** 支障をきたしていることはないが、かなり長期にわたり臨時

に頼らざるえない地域事情も理解してほしい。

**若者が希望を持てる就労環境とは**

**問** 若者が希望を持てる就労環境とは具体的に

なイメージはあるのか。また、若者定着施策として町独自の賃金上積みをしてはどうか。

**町長** 子育て支援を柱に結婚・出産・子育てをしつかり支援する事である。提言は聞きとどめる。

**特定危険家屋に限定すべき**

**問** 空き家バンク施策のうち自治体が担うものは「特定危険家屋」に限定すべきだ。空き

家バンクは民間業者と連携・協議を重ねて慎重に行うことが大切だ。

**町長** 移住定着施策の一環と考えている。

**問** 町長・教育長による誘客海外プロモーションはきちっとした説明を事前に行うべきである。

**町長** 今日までの経緯を踏まえニュージラードでの誘客活動を展開した。

**「山の日」のイベントは**

**問** 海・山・温泉を売り

りにしている新温泉。「山の日」を単に登山とはせずに「海の日」「山の日」を一環として捉え、海・山を見直すイベントにしてはどうか。

**町長** 加藤文太郎図書館のイベントとして「浜坂3山登山」「リピート山中のトークライブ」を予定している。

**問** 厳しい凍結があった日の水位低下のアナウンスは町民との信頼関係を損ねるものであろう。町民に対して

具体的な点検作業を依頼する内容にすべきではないのか。

**町長** 当時は消火栓に支障をきたす程の水位低下が発生した。40件以上の漏

水があり、異常水位が3日間続いたのが実態だ。

**病院の経営改善策を急げ**

**問** 26年度の浜坂病院へ4億5千万円の一般会計から支援は異例中の異例。当然の事として然るべき経営改善策が示されるべきだ。

**町長** 27年度は5千万円の支援となる。当然経営改善策にしたがっての運営となる。

**「道の駅」は一時凍結すべき**

**問** 運営に関する具体的な内容も遅々として進んでないのが実態だ。一時凍結をしてパーキングエリアに止めてどうか。

**町長** 以前より指摘を受けているが、開所に向け推進していく。

# どうするのか安全な水の確保

## 町長 安定供給、経営改善には14%の値上げ予定



宮本 泰男 議員



**問** 本町の上水道事業は人口減少、財源縮小また、老朽化した施設の更新、耐震化等に膨大な費用がかかり、経営が窮地に立たされている。現状と課題、問題点を問う。

**町長** 上水道事業の経営環境は非常に厳しく、2千万円程度の損失が発生している。

**水道料金審議会の答申内容は**

**問** 将来の水の安定供給を担保するため、水道料金値上げを前提に諮問したのか。

**町長** 今後の経営、安全な水を安定的に供給

する上での適正な水道料金の審議をお願いする。

審議内容は2月の中間答申では29年度には14%程度の料金値上げを予定する。

**問** 町民に経営状況説明、値上げ理由説明を十分すべきである。施設更新急ぐ箇所は。

**町長** 温泉地域、クリプト対策として膜ろ過をする。28年度から春来から後山まで9か所実施。浜坂地域は31年から居組、諸寄、境等は紫外線処理施設で順次対応する。

**問** 浜坂地域の工事内容は。

**町長** 配水池の耐震化

水道管ダクタイル鋳鉄管敷設、約7億円(28・29年度)予定。

**問** 人家から離れた新規の水産加工業者への水道管敷設支援、助成はできないか。

**上下水道課長** 通常の給水範囲ではない。

**設備投資、値上げは慎重な取組みを**

**問** 居組、諸寄両地区は町へ移管後料金が2倍近くになっており、さらに値上げされることになる。住民感情を察して、早急に安心安全対策。クリプト対策をすべきである。

**町長** 現計画では31年以降になる。

**問** 今後の設備投資の考え方は将来を見越して合理的な投資にすべきである。

**町長** 将来予測を十分に必要最小限にとどめ



本町の上水道事業は人口減少や老朽化した施設の更新で経営難が継続。料金改定には町民に十分な説明が必要である。(写真は老朽化した新市浄水場)

**空き家バンク制度について**

**問** 空き家活用推進事業条例が制定となり、温泉のある町、各個人住宅に温泉が配湯されている町を積極的に強くアピールし、移住、定住人口を増やす準備が整った。担当は地域おこし協力隊がするのか。

**町長** 商工観光課が担当する。

**問** お試し住宅の取組みは。

**町長** 28年度改修2件200万円計上し事業展開する予定。

**本気度が見られる**

**問** 移住定住者のきっかけは、行政方針に合う人が英断する。すなわち子育てに力を入れている自治体には子育て家族が移住してくる。

**町長** 温泉配湯の町、子育て支援等、あらゆる役場情報がワンストップで届くよう対応する。





岩本 修作  
谷口 功 議員

## 憲法原則に沿った地方政治の推進を求める

### 町長 当然そうあるべきだ

**問** 昨年の安保法制をめぐる国民運動の中で、「立憲主義」とは何かと問い直されていた。東大名誉教授樋口陽一さんは、近代立憲主義にとつて、権力制限の究極の目的は、社会の構成員を個人として尊重することにほかならないといっている。私は、たとえ多数を持つ政権党でも、憲法の枠組みに反する政治をしてはならないこと、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の原則が貫かれる政治で、地方自治も共通す

ると考えるが、町長の認識を問う。  
**町長** 当然、憲法の秩序の中で物事が決せられるべきもの、近代以後の世界共通の認識だと考える。もちろん地方自治もそうだ。  
**問** 「民主主義」についてはどう考えるか。

私は、生存の自由、市民的政治的自由、民族の自由などが保障され、対等・平等に意思の表明ができる社会と  
**町長** 民主主義は、一つの政治的制度としてルール化され確立されてきた。



雇用は定住条件のキーポイント。有効求人倍率や最低賃金はアップしているが若者の地元定着には遠い。

### 28年度予算の中心は何か

**問** 新年度、町長の押し出した政策課題は何か。

**町長** 移住定住の促進、空き家対策、道の駅など地方戦略に沿った元気づくりプロジェクトの推進だ。

**問** 予算編成に苦労したところは何か。

**町長** 地方交付税が必ずしもルール通り交付されず、国の新規事業に振り替えられ財源不足になる。その上、合併算定替え、国勢調査の人口減でさらに交付税が減額され新規事業の財源が見出せないことだ。

**問** アベノミクスで、わが町の雇用、賃金、財政状況が改善されたのか。

**町長** 有効求人倍率は上がり、最低賃金は若干上がったが、わが町の財政は引き続き厳しい、経費節減に努めた

### 移住・定住は受け入れの姿勢がカギとなる

**問** 移住・定住問題に多くの期待が寄せられた。お金やモノに囲まれた利便性の高い都会の生活から、豊かな自然と素朴な人間の暮らし、素朴に生きる人間としての魅力など求め、また、その実現のために生活の糧は問わず生活スタイルを求める人、逆に自然に働きかける仕事を求める人など、多様な希望に柔軟に対応・受け入れられる姿勢が求められている。あわせて、魅力ある人物像などが紹介できる仕組みも必要だと思いがどのように考えるか。  
**町長** 全く同感である。その多様性に応える、ライフスタイルのそれぞれに添えていくことが必要だと考えている。

# 総務教育常任委員会

3月11日開会



小水力発電の可能性調査を実施したが採算性は難しい。  
写真は「岸田の水車小屋」

## 子ども教育課

### 報告事項

Q 保育師と小学校教諭の免許の状況は。

A 待機児童緩和策として規制緩和されている。

## 生涯教育課

### 報告事項

Q 先人記念館の入館

### 協議事項

公民館長の報酬の改定。モデル館の館長を9万円に、(Ⅱ型)大庭・諸寄・居組)、I型の館長を4万5千円

料の免除・招待の基準はどうなっているか。

A 内規で決めている。

Q グランドゴルフ場

運営の抜本的な問題は。

A 現状を踏まえ、今後のことは大きな課題である。

に。(春來照来・八田・三尾・赤崎・久斗・久斗山)

Q 1,0000円のダウン、2万6000円のアップの根拠は何か。

A 社会教育委員会で協議した結果である。

## 税務課

Q 税申告の受付時刻に若干の余裕をもてないか。

A 基本線はあるが、できるだけ対応したい。

## 企画課

### 報告事項

Q 湯めぐりエクスプレスが鳥取空港を経由しなくなる。なぜか。

A 観光面での効果はなかった。利便性も悪く、JRでも一部カバーできる。

Q 小水力発電の試験の結果は。



浜坂多目的公園グランドゴルフ場の利用が少ない。駐車場等根本的な対策が必要。

### 協議事項

一般会計補正予算「常勤の特別職の給料を、1か月、10%減給する内容」

Q 町支払いは約1,600万円であり、減給額が少ない。

A 事務処理において適切さを欠いた。採決の結果賛成少数で否決

## 請願

「ふるさと納税」推進に関する件  
委員会として採択した。

## 総務課

### 報告事項

Q 28年度職員数の状況は。

A 正職員265名、臨時職員213名である。

# 産業建設常任委員会

3月7日開会



高値が続く但馬牛。この機会に多頭飼育農家の増頭や、畜産の新規就農者の拡大が望まれる。

## 牧場公園課

**Q** 加工体験に但馬牛を利用したものと考え、みてはどうか。

**A** 但馬牛を利用すると単価的に大変高くなり、人集めができるか悩むが一度チャレンジして見たい。

### 協議事項

1件 異議なく承認した。

## 農林水産課

**Q** 畜産振興事業要綱の一部改正で1頭あたり5万円が25万円に改正されたわけだが、他地域で牛を飼育しているものは対象になるのか。

**A** 基本的に新温泉町に住所がある者が対象になる。

### 協議事項

諸寄基幹集落センター、諸寄健康増進体育センターの指定管理について

異議なく承認した。

二日市ふれあいセンターの指定管理について

異議なく承認した。

### 建設課

**Q** 暖冬の効果により今年度の除雪費はいくら削減できたのか。

**A** 2月26日現在、予算は9千333万円に対し固定費、作業費合わせて実行額は6千174万円、3千158万円の削減となった。

**Q** 空き家の代執行で除却費での国の補助はないと聞いているが。

**A** 代執行での補助はない。所有者が判らないときは町が除却費用負担をするが、所有者がいる場合は所有者が負担する。

負担する。

**Q** 新残土処分場供用開始はいつの予定か。

**A** 供用開始は平成31年半ばとなる予定である。

### 協議事項

条例の制定について  
新温泉町空家等対策の推進に関する条例

異議なく承認した。

諸寄児童公園、諸寄財産区への指定管理について

異議なく承認。



新残土処分場の開設のため進入路の整備が進んでいる。計画地は新温泉健康福祉事務所の裏手で写真の奥地。

## 商工観光課

**Q** 道の駅の指定管理者のイメージはどのようになっているか。

**A** テナントで入っている方々の意向を勘案しながら、組合を設立するのも有力な1つであると認識している。

### 協議事項

公の施設に係る指定管理の指定については本議会で審議すること、議長に申し込む。

# 環境福祉常任委員会

3月8日開会  
3月25日開会

## 町民課

マイナンバー制度交付状況について

Q 個人番号通知カードの交付状況は。

A 全交付枚数5,816枚、未交付枚数125枚

新しいごみの分別実施について

Q 2月中に分別収集にトラブルがあったようだがどうしてか。

A 早期に慣れて頂くため、試行的に行ったが説明不十分な点もありトラブルとなった。

Q 分別について詳しく町民に周知すべき。

A 今後、分かり易く説明していく。

## 健康福祉課

公の施設整備について

Q 福祉センターを全体的に改良すべき。

A 屋根等雨漏りもあり、一部改修でなく、全体的な改修が必要とは思っている。

特定不妊治療助成事業増額について

Q どの程度の増額か。

増額については大変好ましい、できる限りの増額が望ましい。  
A 10万円を20万円に倍増し、産声に協力したい。



特定不妊治療助成を倍増。子どもは家庭、地域、町の元気の源、元気な産声に期待したい。

## 上下水道課

異常寒波による、水道管破裂状況について

Q 水源水位が極端に下がったのは、各家庭が消雪水として使用したのが原因との説明だが、消雪水として使用した日数は少ないと考えられるが。

A 原因究明は必要だが、現在のところ各家庭の使用量が確定しない限り、不明である。



老朽化のため外壁のみならず雨漏りも発生している浜坂福祉センター。早急な全体改修が必要。

## 公立浜坂病院

関連施設の利用状況について

Q 施設全体の利用が落ち込んでいるが、原因はなぜか。

A 介護度の利用条件が変更されたためもある。事業全体で利用促進に努めていく。

Q 今回の漏水件数は、浜坂地域177件、温泉地域228件。

# 請願書・採決一覽

## 議会日誌

### 請願書

●「ふるさと納税（寄付金）」  
推進に関する件  
(H28.3.25採択)

同請願については、税の原則に大きく逸脱するものでなく、逆に本町の税収減の原因にもなっている。全国で実施され効果が上がっている「ふるさと納税と返礼品」をセットにした振興策は議会の声として議論の経過もあり、出遅れの感はあるが、請願趣旨に共感し採択する。

### 一般質問の動画 QRコード掲載を開始

新温泉町のホームページでは、議会一般質問の動画を配信しています。  
スマートフォンをお使いの方は、QRコード読み取りアプリを使用して簡単に動画を見ることが出来ます。



第77回定例会 議案採決一覽表 (H28.3)

議員名 議案名	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	賛成	反対	採決
	中井勝	谷口功	宮脇諭	植田光隆	岡坂峰雄	谷田一富	中村茂	西村敏弘	西村銀三	中井次郎	池田宜広	宮本泰男	岩本修作	高橋邦夫	小林俊之			
新温泉町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定について	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	-	6	8	否決
新温泉町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	11	3	可決
新温泉町空家等対策の推進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	13	1	可決
新温泉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	2	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について（旧八田中学校跡地体育施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	13	1	可決
平成27年度新温泉町一般会計補正予算（第5号）について	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	-	10	4	可決
平成28年度新温泉町一般会計予算について	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	-	10	4	可決
平成28年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	12	2	可決
平成28年度新温泉町下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	12	2	可決
「ふるさと納税（寄付金）」推進に関する件	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	3	採択
T P P協定の批准は行わないことを求める意見書の提出について	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	-	5	9	否決

○は賛成、×は反対、-は議長職のため採決に加わらない（全員賛成議案は省略）

### 議会日誌

- （1月）
  - 7日 議会広報調査特別委員会
  - 13日 議会広報調査特別委員会
  - 26日 北但行政事務組合議会運営委員会
  - 29日 議会広報研究会《神戸市》
- （2月）
  - 2日 北但行政事務組合議会定例会《豊岡市》
  - 3日 議会運営委員研修会《神戸市》
  - 17日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会及び議長会評議員会議
- 《神戸市》
  - 22日 但馬広域行政事務組合議会定例会《豊岡市》
  - 23日 美方郡広域事務組合議会定例会
  - 26日 議会運営委員会
- （3月）
  - 2～25日 第77回議会定例会
  - 3日 全員協議会
  - 3日 議会広報調査特別委員会
  - 7日 産業建設常任委員会
  - 8日 環境福祉常任委員会
  - 11日 総務教育常任委員会
  - 16～24日 予算特別委員会
  - 24日 議会運営委員会
  - 25日 環境福祉常任委員会



挿し絵 清水伸子氏

# 「村芝居」で地域を元気に

## 活動内容は…

塩山を活性化させるため、様々な事業を行っている。結成当初は、会員や子ども達に自然とふれあう場を提供しようと、寸原峠にログハウスを建てたり、男も料理をする時代と「男の料理教室」を開いたりした。しかし、会員に時間的余裕がなくなり、現在では村芝居や会員の各種交流会のみとなった。

つばさ会のメイン事業である「村芝居」は、盆の14日を皮切りに、各地区の催しに数多く出演している。

いつから… きっかけは…

平成13年3月に設立。きっかけは、ある飲み会で、「塩山を元気にせんとかあかなあ！」という一言から。それじゃあ会を作ろうと立ち上げた。

メンバーは… 30代から60代までの15人。会員になるには、「酒を飲むことが好き



で、村づくりに興味・熱意があること」と規約に定めている。

## 会のセールスポイントは…

「村芝居」をする際は、「寸原一座」と名乗っている。

何よりも「役者揃いの粋な集団」である。特に人を笑わせることには長けている。

また、金儲けを目的としないこと。

## 今後の抱負は…

今後も様々な事業をして村を元気にしたい。特に子どもたちが塩山を誇りに思えるような事業をと、思っている。また、福祉施設等を訪問し、「村芝居」などで入所者の皆さんを元気にさせたい。

## 皆さんにお願いしたいこと…

地域活性化のために頑張っている個人、団体があれば交流したい。交流することで、お互いの会の発展に繋がっていくことを願っている。

つばさ会 (新温泉町塩山)

代表 山本清孝

## 編集後記

認定こども園の入園式に出席しました。元気はつらつ、腕を振り足高く堂々たる入場。ニコニコ笑顔、満場明るく気分爽快、今年はこの両親の出席が沢山見られた。夫婦で子育て頑張れよ、これらが大変だよ、病気やけが、苦しくつらく悲しいときもあるよ。愛情と根気、夫婦円満家庭が基本。「子育て支援」に私たちの役割、責務を再認識しました。新年度のスタートに、夢と希望を入園児からもらった今日この頃です。



(Y・M)

次回定例会は6月です。傍聴してください。

議会広報調査特別委員会	
委員長	中村 茂
副委員長	池田宜広
委員	岡坂峰雄
	西村敏弘
	宮本泰男
	岩本修作

発行者 議長 小林俊之